

外科系各科の心身医療に学ぶ 耳鼻咽喉科における心身症

五島 史行

独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 耳鼻咽喉科
聴覚平衡覚障害研究部 平衡覚障害研究室 室長

耳鼻咽喉科における心身症はめまい、耳鳴り、咽喉頭異常感症が三大疾患である¹⁾。それに引き続き、舌痛症や口腔内の異常感症などが続く。耳鼻咽喉科としての介入は、一般的には器質的疾患を各種検査で除外できれば、それで良いと考えている医師が多い。この場合には異常がないことを補償しそれ以上の話を聞くことなく、精神科、心療内科を勧める。しかし、近年ストレス関連心身症は増加しており、そのような対応で納得されないケースも増えている。

耳鼻咽喉科領域の心身症に対して外科的介入を行うことは通常無く、内科的診療によって症状の改善を期待する。具体的には良好な医師患者関係、患者への気づきをいかに促すかがポイントとなる。

めまいを例に挙げると、心身症としてのめまいはうつや不安を合併しており心身両面からの介入が必要である。その場合には身体疾患としてのめまいのリハビリテーションと、集団で入院するという認知療法を組み合わせた集団入院めまいリハビリテーションを行っている²⁾。最終的に、医師のみの対応で症状の改善が得られない場合には心身医学治療して臨床心理士と連携し自律訓練法を積極的に導入していた³⁾⁴⁾。しかしこの治療は採算面での問題があり一般的にはなかなか施行するのが難しい。

紹介いただくと苦慮するケースは、良好な医師患者関係が築けない症例で、具体的には攻撃性の高い症例、人格障害例、精神疾患合併例である。本心として治癒を望んでいない症例の治療も困難である。

【文 献】

- 1) 五島史行, 中井貴美子, 小川郁: 総合病院耳鼻咽喉科における心身症の割合と心療耳鼻咽喉科医の必要性. 心身医学 50: 229-236, 2010
- 2) 五島史行, 山本修, 進藤彰人 他: 高齢者と若年者におけるめまい集団入院リハビリテーションによる治療効果の比較. 医療 68: 175-181, 2014
- 3) 五島史行, 中井貴美子, 小川郁: めまい、耳鳴り患者に対する投薬量減量を目的とした個人自律訓練法の導入とその成績. 日本心療内科学会誌 14: 124-128, 2010
- 4) Goto F, Nakai K, Ogawa K: Application of autogenic training in patients with Meniere disease. Eur Arch Otorhinolaryngol 268: 1431-5, 2011

略 歴

1994年3月(平成6年) 慶応義塾大学医学部卒業
1998年4月(平成10年) 慶応義塾大学医学部博士課程 入学
1999年4月(平成11年) ドイツ・ミュンヘン大学生理学教室に留学
2001年4月(平成13年) 東京医科大学生理学教室国内留学
2004年12月(平成16年) 日本大学板橋病院 心療内科研究員
2008年4月(平成20年) 日野市立病院耳鼻咽喉科部長
2009年6月(平成21年) 成育医療研究センター病院 非常勤医師
2014年4月 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター
臨床研究センター 平衡覚障害研究室室長

資格：めまい平衡医学会専門会員、日本心療内科学会登録医、
耳鼻咽喉科心身医学研究会世話人

趣味：温泉、めまい

著 書

五島史行 自宅で治すめまいリハビリ 金原出版 2013

心身領域での活動

平成27年9月26日土曜日

第7回耳鼻咽喉科心身医学研究会

<http://www.memai.com/shinshin/>